

保護者の皆様

令和2年度 学校評価についての報告たつの市立龍野小学校
校長

平素は本校教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、昨年末にご協力いただきました「保護者アンケート」、並びに本校職員によるアンケート評価と分析により、学校としての自己評価を実施しました。そして先日、学校評議員会を開催し、学校関係者評価として、自己評価の内容について評議員の皆様よりご意見をいただきました。

下記に、主な分析内容と、課題に対する今後の取組をお知らせいたしますのでご覧ください。

皆様からいただいたご意見を参考に、子どもたちの健やかな成長のため、教育活動に一層専念してまいります。今後とも、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

記

1. 「保護者アンケート」「職員アンケート」からの考察と対応策

「保護者アンケート」の結果、残念ながら今年度の保護者による評価は、ほとんどの項目で、A Bの肯定的評価の割合が、前年度を下回る値となりました。ただ、すべての項目で否定的評価が増えたのではなく、Eの「わからない」の増加がうかがえます。コロナ禍の中での、教育活動に不安を抱かれた様子が現れていると推察できます。以下、アンケート結果から主な考察と対応策についてお知らせします。

☆開かれた学校づくり

- 年度当初の懇談会や総会がなく、各学年の方針が伝えられなかった。また、行事が減り、HPの更新があまりできなかった。 → HPをできるだけ更新していく。特別な行事だけでなく、普段からの学校の様子を伝えていきたい。
- 今年度作成した、「よくわかる龍野小学校」が家庭でよく活用されている。 → 年度末に内容を確認して、更新配布していく。

☆教職員の資質向上

- 「龍野小学校授業スタンダード」を意識した授業の取り組みが進んでいるので継続していきたい。
- 教員は「人権を尊重している」の評価が高いが、保護者の方は減ってきている。指導しても納得できていないまま帰宅させてしまった児童の保護者からの評価が反映されている。 → 複数で指導して、指導後のフォローや家庭への連絡などのケアを心がける。教師の人権感覚を磨き、子どもに丁寧に対応する。
- 一人一端末の実現により、ICTの活用を積極的に活用し、オンライン授業等の研修を深めていく。

☆地域に信頼される学校づくり

- 学校行事について、学校へ行く回数が多く負担になっているように思える記述が数件あった。 → 昨年度からの取組で精選している。今年度を参考にして、家庭訪問など学校行事の内容をさらに検討していく。
- PTA行事等の学校主催ではない行事（たつのっ子プールなど）の評価も反映されている。 → PTAが主催する行事についてはPTAと一緒に検討していく。

☆学力の向上、学習環境づくり

- 学習面の細かい部分が学校全体で統一されていることにより、学年が上がっても変わらず進めていける

という良い部分もあると思うが、細かい統一事項が多いように思う。

→ 本当に統一しなければいけないこととそうでないことをもう一度職員全体で考え、「家庭学習と生活の手引き」を具体的に見直して、統一事項を共通理解する。

○ 大型テレビを各教室に設置してほしい。環境面では、外トイレの改修要望がなかなか通らないことへの評価が反映されている。

→ 大型テレビは、他校より設置率が高い。さらに、教材備品要求に毎年あげて増やしていく。また、施設改修要望等は、継続して要望をしていく。

○ 子どもたちのドリル等の丸付けは学校、担任の先生の仕事ではないか。子どもたちがどこでつまずき、分からなくなっているかしっかりと確認し、授業に生かしていただきたい。

→ 宿題の点検やドリルの丸付けについては、子どもの学習状況を知っていただくためにも、家庭学習としてご家庭に依頼することがある。学校においても、色々な場面でつまずきを把握して授業に生かしていく。

☆道徳教育・人権教育・生活指導の充実

○ いじめアンケートの内容は毎年見直す必要がある。記名・無記名など子ども達にとって本音を書きやすいものになるように考えていかなければならない。

○ アンケートだけに頼るのでなく、普段から子ども達が助けを求めやすい雰囲気を作っておくことと、自分のクラスだけでなく教員全体で子ども達を見ていくという意識が大切であると考え。

→ 道徳・人権のカリキュラムの見直しと授業の充実。教師がさらに人権感覚を磨いていく。

→ 無記名のアンケート実施を含めて、実施方法を検討した。

○ 決まった人（教師）には挨拶ができる児童はいるが、友だち同士や登下校時に地域の方々への挨拶はできていない傾向があると考えられる。登校班では高学年が元気に挨拶をしている班は低学年も元気に挨拶できている。高学年がお手本を見せていくことも必要である。また、学校だけでなく家庭でも普段から挨拶をする習慣がつくように啓発していく。

☆健康教育・安全教育の推進

○ コロナ禍における不安から評価が下がっていると考えられる。夏が過ぎても登下校時や休み時間にマスクを着用していない児童がいたことも原因の1つではないか。今後も、できる限りの感染症対策をとっていく必要がある。

○ 通学路は狭い道が多く、スピードを出す車が多かったり、不審者情報が流れたりして不安に思っておられる保護者もいるのではないかと考えられる。下校指導を定期的に行い、児童が決まりを守って下校できるようにすることと、警察や地域の方と連携して子ども達を見守っていく。

☆特別支援教育

○ 入学説明会、PTA総会で特別支援教育の話ができるのは良いことなのでこれからも続けていく。

○ 今年度のように総会などができない時に、プリントを配布する等、保護者への啓発の仕方を考える必要がある。

☆保健・体育

○ ボール類が不足しているため十分な活動ができないことがある。

→ 運動量確保のため、ボールはベルマークのお金で購入していただいた。

○ コロナ禍の中でも、できる限りのことを考えて行事等を実施したことで、肯定的な意見が多かった。

☆その他

○ 今年度、働き方改革の観点から、職員会議の時間確保のため、水曜日下校時刻を早くした。

昼休みの遊びの時間は確保して、掃除時間をなくしたが、校舎が乱れることもなく、今後も継続実施する。

- 学校行事の移行については、コロナ禍の中、午前中開催ではあったが運動会を土曜日に開催した。来年度から、5月の最終土曜日を実施予定日とする。
- 授業時数と下校体制の検討により、来年度から2年生の火曜日6校時の授業をなくして、1、2、3年生下校とする。
- コロナ禍の影響もあり、1月より「校報たつの」は全戸配布を停止して、PTA配布と自治会回覧にした。

2. 学校関係者評価結果

学校関係者評価委員会でのご意見（第2回学校評議員会で評価委員会を兼ねて開催）

- コロナで行事が減らされてしまうことが、学校週5日制になった時に多くの行事が減らされたときとかぶる。学校の負担を少なくするために削ろうとする傾向にいつてしまわないか。学校も親も「面倒だからやめる」にならないようにしてほしい。
- 行事は大切だ。親やおじいちゃん、おばあちゃんに見られる、「どきどき感」の中でがんばる経験で、子どもが育つ。先生への感謝。家族の責任感も芽生える。
- 運動会の午前中開催で、お弁当づくりの負担が減ってよかったという意見もあり、行事ではPTAもたいへん面倒くさいことが多い。しかし、学校に出ることが多く大変だからこそ、地域や人々のことを知るいい機会になっている。
- 不易と流行をしっかりと考えて、大切なことは無理でも折り合いをつけて、なんとかやっていって欲しい。
- コロナ禍が収束したあと、易きに走ってしまうのがこわい。集団でもまれる機会を奪ってしまわないように考えていくことが大切。
- 学習面等の細かいきまりごとが多いという点については、先生の個性を出してやってほしいという一方で、若い先生の指導という面で、きまりごとを通して、どうかみんなで全体の指導力を引き上げていってほしいということもある。
- 「オンライン授業を」という保護者の意見があるが、オンライン授業をしている子どもは、ただぼやっと見ているだけの場合もある。目的を忘れずにして、手段を考えていくことが大切。
- コロナ禍の現在、最も影響が出やすい年寄りや、人と接する機会が減ったことで心身に顕著な変化が表れている。震災後の子ども達の症状として、震災の翌々年にストレスが症状となってあらわれたということがある。今、順応しているように見える子どもも、後になって影響がでてくるのではないかと心配している。
- 年齢に関係なく、人に会う、いろいろな人と話をする、外に出て行く、行事に参加することは大切。
- 最近、子どもが公園で遊ぶ姿が増えてきた。地域のお年寄りが、子ども達のために張り切ってトイレ掃除をしている。
- 中学校へ行ってから、不登校になる子どもやSNSを通じた人間関係のトラブルに関与する子どもがいることについて。
 - ・ 龍野の子は、集団の中でもまれておらず、刺激に弱い面があるかもしれない。
 - ・ SNSに関しては、情報モラル教育が学校で行われているが、親の方もしっかりと学ばないといけない。
 - ・ 小学校で切磋琢磨させつつ力をつけていく。たくましい子になってほしい。
- 家庭での愛情が足りているか。愛情不足が、他者への攻撃になって現れることもある。
 - ・ 親が本当に忙しくて子どもをかまっていられないときは、子どももわかるだろうが、親が子どものそばにいないながら、ずっと携帯を見ていて子どもを見ていないことが増えている。親の意識を変えていくことが大切。

2020（令和2）年度 学校教育についての保護者アンケート結果

2020年12月実施

※保護者240人の方から回答をいただきました。ありがとうございました。

A:あてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない E:わからない (%)

NO	評価内容	A	B	C	D	E
1	学校は、教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。	33.3	54.2	9.2	0.4	2.9
2	学校は、保護者や地域の方が子どもたちの様子を知る機会を設けている。	43.3	48.8	5.4	1.7	0.8
3	教職員は、子どもたちの人権を尊重している。	31.3	49.2	8.3	2.5	8.8
4	学校は、保護者からの問い合わせや訪問に対して、丁寧に対応している。	47.1	43.8	4.2	0.8	4.2
5	学校は、保護者や地域の声を教育活動に生かそうと努めている。	30.0	48.3	11.3	1.7	8.8
6	学校は、校舎内外をきれいにし、落ち着いた学習環境の整備に努めている。	36.3	49.6	9.6	2.5	2.1
7	学校は、家庭と連携して、子どもたちに基礎的な学力が身につくように努めている。	27.9	51.7	14.2	1.3	4.6
8	学校は、分かりやすい授業づくりに努め、子どもたちの学習意欲を高めようとしている。	27.9	54.2	9.6	4.2	4.2
9	学校は、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てることに努めている。	27.5	55.8	10.4	1.7	4.6
10	学校は、子ども一人一人を大切にし、いじめを許さない仲間づくりに努めている。	25.0	50.8	11.7	2.9	9.6
11	子どもたちは、家族や友達、地域の人々にすすんであいさつをしている。	24.6	46.7	17.5	7.9	3.3
12	学校は、保護者との連絡や相談を必要に応じて適切に行っている。	37.9	50.8	6.3	3.8	1.3
13	子どもたちは、安心して元気に登校している。	47.5	42.1	7.9	0.8	1.7
14	学校は、子どもたちが安全で健康な生活を送れるよう努めている。	43.8	47.9	5.0	0.4	2.9
15	学校は、子ども一人一人の課題に応じた適切な支援や指導ができています。	35.8	44.6	7.5	0.8	11.3
16	学校は、子どもたちの読書習慣の確立に努めている。	39.6	49.2	7.5	0.4	3.3
17	学校は、給食や授業などを通して、子どもたちの望ましい食習慣の育成に努めている。	44.2	49.2	3.3	0.4	2.9
18	学校は、子どもたちの体力増進と健全な生活習慣の育成に努めている。	42.5	52.9	3.8	0.4	0.4
19	学校は、子どもたちの地域に対する誇りや愛着を育てるよう努めている。	40.0	52.9	4.6	0.0	2.5
20	学校は、他の学校園との連携や地域の方々との交流を積極的に進めている。	35.8	52.1	5.4	0.0	6.3

(小数点以下の処理の関係で、A～Eの数値の合計は100%にならない場合があります。)